

金沢学院大学

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題

総合型選抜 特待奨学生選抜

2024 年 12 月 14 日 (土) 実施

歴史総合・世界史探究

I 注意事項

- 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 解答用紙の解答科目欄に「歴史総合・世界史探究」と記入・マークしてから解答してください。
- 問題は 1 ページから 8 ページまであります。
- 問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、「解答番号は 10」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

前2世紀後半に即位した(A)前漢の武帝は、匈奴を撃退するとともに、南越国や衛氏朝鮮をほろぼして支配下に入れた。また中央アジアの交通路をおさえて、タリム盆地一帯にまで勢力をのぼした。武帝の死後は、皇帝支配が弱まり、豪族が地域社会に勢力をはり、官僚となって中央・地方の政界にも進出した。朝廷では、外戚や宦官が勢力を争うようになり、後8年、外戚の(ア)が帝位について新をたて、前漢はほろんだ。

もっとも周代を理想とする(ア)の政治は時代にそぐわず、(イ)にはじまる全国的な農民反乱と豪族層の反抗のなかで、新は崩壊した。反乱軍の指導者の一人であった(ウ)は、豪族の支持をあつめ、25年に洛陽を都として漢王朝を再興した((B)後漢)。しかし、その後、外戚・宦官が対立を繰り返すようになり、2世紀後半には、こうした状況を批判した官僚・学者らが宦官によって大弾圧された。これを(エ)という。2世紀末、(オ)がおこると、各地に軍事政権が割拠して、220年に後漢はほろんだ。

漢代では、中国外部の世界との交流も盛んになり、中央アジアに派遣された前漢の張騫・後漢の班超らによって西方の事情が伝えられ、仏教も伝来した。また2世紀半ばには、大秦王安敦の使節が海路で日南郡に達した。こうした状況を受けて、皇帝を中心に多様な地域が統合されるとする理念のもと、(C)漢は近隣地域の首長を臣下として封建するようになった。

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

1

- ① 曹操 ② 王莽 ③ 項羽 ④ 司馬炎

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

2

- ① 呉楚七国の乱 ② 黄巾の乱 ③ 赤眉の乱 ④ 白蓮教徒の乱

問3 文中の(ウ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

3

- ① 劉秀 ② 劉邦 ③ 陳勝 ④ 呉広

問4 文中の(エ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

4

- ① 文字の獄 ② 戊戌の政変 ③ 焚書・坑儒 ④ 党錮の禁

問5 文中の(オ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

5

- ① 呉楚七国の乱 ② 黄巾の乱 ③ 赤眉の乱 ④ 白蓮教徒の乱

問 6 文中の下線(A)がおこなったことの説明として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 道教を国教として仏教を弾圧した。
- ② 物資の流通と物価の安定をはかる均輸・平準法を実施した。
- ③ 儒学の試験によって官吏を選ぶ科挙をはじめた。
- ④ 戸籍を整備して均田制を施行した。

問 7 文中の下線(B)の時代の文化の説明として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 司馬遷が紀伝体で『史記』を記した。
- ② 董仲舒の活躍などで儒学の影響力が高まった。
- ③ 古今の名文を集めた『文選』が編纂された。
- ④ 経典の字句の解釈をおこなう訓詁学が鄭玄らにより発展した。

問 8 文中の下線(C)と関連して、以下の図は後漢のある皇帝が倭人（日本人）を封建して与えたとされる印であり、江戸時代に現在の福岡県の志賀島で発見されたものである。この印を与えたとされる皇帝として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は



(伊東尾四郎『福博誌』森岡書店、1902年刊より)

- ① 太武帝
- ② 洪武帝
- ③ 光武帝
- ④ 孝文帝

問 6 文中の（カ）に適切なものを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① ブルグント（ブルグント）王国
- ② ランゴバルド（ロンバルド）王国
- ③ 西ゴート王国
- ④ ヴァンダル王国

問 7 文中の下線(A)と関連して、後に 642 年のニハーヴァンドの戦いでアラブ＝ムスリム軍にやぶれて、事実上崩壊した王朝として適切なものを、①～④の中から 1 つ選べ。

解答番号は

- ① アケメネス（アカイメネス）朝
- ② ササン朝
- ③ セレウコス朝
- ④ グプタ朝

問 8 文中の下線(B)の説明として適切なものを、①～④の中から 1 つ選べ。

解答番号は

- ① ハールーン＝アッラシードの時代に最盛期を迎えた。
- ② トルコ系の奴隷軍人（マムルーク）を親衛隊として用いた。
- ③ トゥール・ポワティエ間の戦いでフランク王国をやぶった。
- ④ 被征服地の人々からジズヤ（人頭税）とハラージュ（地租、土地税）を徴収した。

第3問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

分立状態が続いていたイタリアでは、1848年の二月革命後、青年イタリアの（ア）も参加したローマ共和国建設の動きや、サルデーニャ（サルディニア）王国のオーストリアとの戦争による北イタリア統合の試みがあったが、いずれも失敗した。しかし、サルデーニャ王国は新国王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世と首相（イ）のもとで、産業の振興や近代化に向けた改革を進めた。王国は、1859年に再度オーストリアと開戦し、これに勝利して（ウ）を獲得した。また、青年イタリア出身のガリバルディは、1860年に（エ）を占領し、サルデーニャ王に委ねた。こうして1861年に、イタリア王国が成立した。

1871年1月、プロイセン国王ヴィルヘルム1世は、ドイツ諸侯によってドイツ皇帝に推挙され、(A)ドイツ帝国が成立した。帝国宰相（首相）となったビスマルクは、国家体制を強化するため、(B)「文化闘争」を繰り広げた。外交面では、（オ）をヨーロッパ内で孤立させる政策をとり、1882年にはドイツ・オーストリア・イタリアの（カ）を結ぶなど、複雑な同盟網をつくりあげた。

問1 文中の（ア）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

17

- ① カヴール ② ティエール ③ マッツイーニ ④ デイズレーリ

問2 文中の（イ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

18

- ① カヴール ② ティエール ③ マッツイーニ ④ デイズレーリ

問3 文中の（ウ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

19

- ① ヴェネツィア
② 教皇領
③ 両シチリア（ノルマン＝シチリア）王国
④ ロンバルディア

問4 文中の（エ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

20

- ① ヴェネツィア
② 教皇領
③ 両シチリア（ノルマン＝シチリア）王国
④ ロンバルディア

問5 文中の（オ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① イギリス ② フランス ③ ロシア ④ スペイン

問6 文中の（カ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 三帝同盟 ② 三国同盟 ③ 三国協商 ④ 三国枢軸

問7 文中の下線(A)の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① ドイツの諸邦と自由都市で構成される連邦国家であった。
② プロイセン国王が皇帝を兼ねた。
③ 帝国宰相は皇帝にのみ責任を負った。
④ 帝国議会選挙では、女性参政権も認められた。

問8 文中の下線(B)において、ビスマルクと対立した勢力として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① カトリック教徒 ② 自由主義者 ③ 社会主義者 ④ プロテスタント

第4問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

アメリカ合衆国は1940年代末から50年代にかけて、社会主義陣営を包囲するように、諸地域に軍事同盟を構築した。1951年には、(A)太平洋安全保障条約 (ANZUS)を締結している。

ソヴィエト連邦では、1953年にスターリンが死去すると、外交政策の見直しが始まった。第一書記の(ア)は、スターリン時代の個人崇拜を批判して、自由化の方向を打ち出した。さらに、西側との関係改善に力を注ぎ、1959年にはアメリカを訪問して(イ)大統領と会談している。しかし、翌1960年にソ連上空で合衆国の偵察機が撃墜される事件がおこると、東西関係は再び冷え込んだ。

西欧諸国では、1950年代以降、アメリカ合衆国に対する自立性を取り戻すためなどの目的で地域統合の必要性が強く認識された。フランスの外相(ウ)による提案を受けて、1952年にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足している。1958年には、さらに2つの共同体が結成された。そして、(B)1967年に3つの共同体が合併してヨーロッパ共同体(EC)となった。

フランスでは、アルジェリアの独立をめぐる国内対立が激化した。この危機において、1958年、(エ)が政界に復帰し、大統領権限の強力な第五共和政を成立させた。大統領となった(エ)はアルジェリアの独立を認めるとともに、アメリカ合衆国に対して自立的な外交政策を追求した。

日本は、朝鮮戦争特需などによって経済復興のきっかけをつかんだ。(C)1956年には国際連合への加盟を実現している。

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

25

- ① エリツィン ② フルシチョフ ③ ゴルバチョフ ④ ブレジネフ

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

26

- ① アイゼンハワー ② ニクソン ③ トルーマン ④ レーガン

問3 文中の(ウ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

27

- ① アトリー ② マーシャル ③ ド = ゴール ④ シューマン

問4 文中の(エ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

28

- ① アトリー ② マーシャル ③ ド = ゴール ④ シューマン

問 5 文中の下線(A)を締結した国家として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① アルゼンチン ② フィリピン ③ オーストラリア ④ カナダ

問 6 文中の下線(B)に関連して、当初は西欧統合の動きから距離を置いていたが、のちに EC への参加を希望するようになり、1973 年に参加を認められた国家として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① ベルギー ② イギリス ③ イタリア ④ オランダ

問 7 文中の下線(C)の直接的なきっかけとなった出来事として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 日韓基本条約を締結して、韓国との国交を正常化した。
② 日ソ共同宣言を出して、ソ連と国交を回復した。
③ 日米安全保障条約を締結して、米軍が日本国内に駐留することを認めた。
④ 日中国交正常化を実現したのちに、日中平和友好条約を締結した。

問 8 次の写真は、1961 年にある構造物が建設される様子を撮影したものである。東西対立の象徴となったこの構造物を建設した国家として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は



- ① ポーランド ② ハンガリー
③ ソヴィエト連邦 ④ 東ドイツ（ドイツ民主共和国）

**2025(令和7)年度 金沢学院大学
特待奨学生選抜（2024年12月14日実施）
解答例【マーク式】**

歴史（歴史総合・世界史探究）							
解答番号		正解	配点	解答番号		正解	配点
第1問	1	②	3	第3問	17	③	3
	2	③	3		18	①	3
	3	①	3		19	④	3
	4	④	3		20	③	3
	5	②	3		21	②	3
	6	②	3		22	②	3
	7	④	3		23	④	4
	8	③	4		24	①	3
第2問	9	④	3	第4問	25	②	3
	10	①	3		26	①	3
	11	③	3		27	④	3
	12	①	3		28	③	3
	13	②	3		29	③	3
	14	③	3		30	②	3
	15	②	3		31	②	3
	16	④	4		32	④	4

計	100
---	-----